

■(初代)三笑亭可楽
さんしょうていからく
・・・・・・・・1777＝

最も古い職業落語家(噺家)の一人で、門下から現在に繋がる一流の諸派の祖を輩出。

江戸馬喰町で、櫛職人の家に生まれる。名は又五郎。

田沼意次失脚1786＝9歳：
寛政改革始・1787＝10歳：

松平定信引退1793＝16歳：

写楽・・・・・・・・1795＝18歳：

奉公を終え独立してまもなく、

古事記伝・・・・・・・・1798＝21歳：この年、大坂から江戸に下ってきた岡本万作の興行に刺激されて、山生亭花楽と名乗り、友人と神社内の寄席で「おとし噺」を演じるも素人芸で種がつき、もとの櫛職人に戻るも諦めきれず、
蝦夷地直轄始1799＝22歳：*不退転の決意し、伝来の家財一切を売払って再出発、武蔵国越谷で興行し大入りとなり、
伊能測量始・1800＝23歳：勧められて三笑亭可楽と改名し、最初の咄の会を開く。

頭の回転が速くて頓智の才があつて、多くの最良を得るとともに、
いざ乃来航・1804＝27歳：「三題咄」を創案。

いざ乃報復・1806＝29歳：この年の林屋正蔵はじめ、*弟子も次々入門して、最初の職業落語家となり、

ゴロブニ拿捕 1811＝34歳：この頃、「種がしま」刊行。

浮世床・・・・・・・・1813＝36歳：

黒住教・・・・・・・・1814＝37歳：咄本「身振噺寿賀多八景」刊行。

・・・・・・・・1815＝38歳：*謎解き「はなし茶番」を創始、寄席は75軒を数えるに至る。

伊能測量終・1816＝39歳：朝寝坊夢楽とともに、公猷親王に召されるなど、料亭や屋敷でも演じ、

水野忠成老中1818＝41歳：

英船浦賀来航1822＝45歳：

富嶽三十六景1831＝54歳：

鼠小僧磔・・・・・・・・1832＝55歳：唯一の滑稽本「枯木の花」。咄本「十二支紫」刊行し、

天保大飢饉始1833＝56歳：没した。